レッスン：PYR 84

テーマ：永遠のアトム

PYR 84 KE08 No.9 2702

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンにおいて永遠のアトムについて多くを述べました：永遠のアトムとは何であり、それは何を現すでしょうか？

永遠のアトムとはまさに最初の転生からのLifeのスパークの現れです。

　この現れはそのパーソナリティーの内側における可能性ですが、しかしどのパーソナリティーなのでしょうか、現在のパーソナリティーあるいは他のパーソナリティーでしょうか？最初にアダムとイブとしてのパーソナリティーがあると前に述べました。そのアダムとイブとしてのパーソナリティーはLifeの本質を完全に現しています。その現れがそれ自身をサイコノエティカル界で現した瞬間から、その中には永遠のアトムの可能性、能力があり、

そして**永遠のアトムの中にはLifeのスパークがあります。**Lifeのスパークは永遠のアトムまたはアダムとイブとしてのそのパーソナリティーの外側にあるのではありません。そして内側にLifeのスパークがあるので、私たちには高次ノエティカル体もあるのです。

また投射されたLifeのスパークがあります、魂のセルフエピグノシスからの微細なスパークであり、ノエティック体を“使用する”能力があります。しかしその能力はこの現れの波動の中では使用されませんが、しかしその可能性としての能力、権威はLifeのスパークの中にあります。

　他の現れはおそらく高次ノエティカル体を使用するのでしょうか？実際、そのとおりです。Lifeの本質を完全に表現しているのはこの現れであり、その中に永遠のアトムがあります。

**高次ノエティカル体を使用するのはこのLifeのスパークであり、**

**それがこの現れがLifeの本質を完全に現す理由です。**

　永遠のアトムはアダム＆イブという現れにどんな可能性を与えるのでしょうか？それは二元性という可能性であり、**この永遠のアトムは二元性という能力のある現在のパーソナリティーを現すことができます。**同時にそれは異なった性を提供します。

　**まずLifeの本質を完全に現しているこの現れは、またLifeの主な特質をも完全に現しています：絶対英知、絶対パワー、絶対善です。しかしこの現れが現在のパーソナリティーを持つようになると、その瞬間から永遠のアトムがサイコノエティカルなヒポスタシスと共に一つの現れを現し、そのヒポスタシス、つまりその現れの諸体は天人の形を帯びなくなります；それらの諸体はその上で現在のパーソナリティーとして自らを現す惑星の形、つまり球形となり；永遠のアトムもまた球形となります。**

　それらの諸体が天人の体の形、つまり元型である人間のイデアのフォームを得るために成長し進むにつれて、永遠のアトムもまたそれに従い、その形を帯びるようになります。

　自己実現の時には、永遠のアトムと**完全に再形成されたサイコノエティカル体**は一つとなり、自己実現の瞬間にその現れとなります。

その現れを使います。以前、現在のパーソナリティーが始まった時にサイコノエティカルな実在と現れを使用するという最初の動きの前の状態、そのパーソナリティーを使用します。つまり最初のアダム＆イブと同一になります；**しかし勿論その現れは今や高次ノエティカル体を使用します。**

Page2

 このステートではこの現れは3つのセンターは持たず、ただ一つのセンターであるハートのセンターだけがあります。ですから高次ノエティカル体が使用される時には1つのセンターのみがあり、それはLifeのセンターです。ですからかつてそのようにしてスタートし、今やその存在のステートに戻るのです。勿論、完全に再形成された諸体としてそれを利用する能力はそこにあり、勿論それは自己実現したパーソナリティーが現在のパーソナリティーとして再び自らを現す時に使用されます。

　自己実現したパーソナリティーは**現在のパーソナリティーとして転生する永遠のアトム**ではなく、

自己実現した現在のパーソナリティーです。

なぜなら､前に述べたように、永遠のアトムと完全に再形成された体（つまり現在のパーソナリティー）は一つだからです。

　ですから、“現在の”現在のパーソナリティーを転生させるのは自己実現です。なぜなら前に述べたように自己実現したパーソナリティーは転生のサイクルに留まり、他の同胞の人間達を助けるからです。つまり、高次ノエティカル体が与える全ての能力、可能性は転生する自己実現したパーソナリティーの手の中にあるということです。しかし、それは他の人間達の苦しみを軽減し、助けるためにのみ使用されることになります…もしその人の原因結果の法則が許すならば、そしてその人の痛みを軽減するためであり、その人のパーソナリティーそれ自体を助けるためではありません。

　ですから、永遠のアトムは乗り物であり、各そして全てのパーソナリティーを転生させる乗り物です。肉体の永遠のアトムがあり、サイコノエティカル体の永遠のアトムがあり、両方が一つになっています。実際、初めは肉体のなかにいる間は3つが一つになっていますが、しかし死の現象によって肉体を去ると、肉体の永遠のアトムは他の2つの中に同化され、そこに残るのはサイコノエティカルな永遠のアトムだけとなります。

**各転生を通じて同じ永遠のアトムを持つことになるのでしょうか？そうです、同じ永遠のアトムです。**

**自己実現したパーソナリティーが体外離脱すると、肉体から離れるのはそのサイコノエティカル体です；実際それは完全に再形成された永遠のアトムでなければならず、その時にのみいわゆる体外離脱が可能となるのであり、それ以前ではありません。**

　**その時初めて、自己実現した現在のパーソナリティーは“自分は現在のパーソナリティーとして過去にも生きていた”と言うことができるのです**；なぜなら、

**そのステートではそれまでの全ての転生を生きてきた永遠のアトムとして述べているからです。**

自己実現に到達していない誰かは過去のことを話すことはできません。

なぜなら自己実現したそのパーソナリティーは全ての過去であり、同時にそれ以上であるからです。

ですから、（＊自己実現していない）現在のパーソナリティーは過去には存在していなかったのです。

現在の何かは前にも存在していましたが、しかし“現在の”現在のパーソナリティーが今現しているようには存在していなかったのです。

　この説明によって、永遠のアトムの機能とオリジンがはっきりと理解されたことを願っています。

Q ：もし誰かが自分は20世紀に生きていた特定の兵士だったと言う場合、その人は当時の自分のことを言っているのであり、今の自分のことを言っているのではないということですね。

K：そうです、ある程度までは同意できます；しかし、それは現在のパーソナリティーからの放射であり、自己実現したパーソナリティーではありません。現在のパーソナリティーはそれとは違っています、その現在のパーソナリティーの中には全ての過去の転生の結果と体験が*ありますが*、しかし以前のと言う時そこにはこの波動の中で初めて息をした瞬間も含まれます。ですから、この波動において初めて息をした瞬間、私たちは他の全ての転生とは何か異なっています。

**ですから、自己実現したパーソナリティーだけが“過去にも存在した”と言うことができるのです。**

Q：多くの人々は催眠療法と過去生退行によって過去を見ることによって助けられており、またヒーラーも人々を助けますが、そこには違いがあるのですか？

K：彼等は潜在意識の中に入り、勿論、潜在意識の中で最近のそして過去のパーソナリティーとの関係を見ることができます。

Page3

　レッスンで述べたように、私たちはそれに賛成しません。なぜなら、そこには多くの危険があるからです。なぜなら、過去生は今よりかなり低いレベルの現れを明らかにし、その結果そのパーソナリティーが悪化することもあるからです。何であれ善と悪の意味、それに対する考え方は過去に戻るにつれて異なっています。そして勿論私たちが前進するにつれて両方の意味も継続的に変化していきます。

Q：自己実現したパーソナリティーであるヒーラーが誰かにヒーリングをし、その症状の原因が過去生から来ている場合、例えば、あなたはその人が過去に何かをした結果、原因結果の法則によりそうなったことを見た時、ヒーラーはその人をバランスの取れた状態に戻すために何をするのですか？

K：それはそれぞれのケースによって異なるので一般化することはできません。原因が何かによります。

Q：例えば、その人が人々を殺したとすると、そのような人に対してヒーラーはバランスを取り戻すのですか？

K：結果はヒーラーの前にあり、その結果を通して彼は原因の中に入ります。ですから、ヒーラーは過去に関して働くわけではなく、現在に対して働きかけるでしょう。それは現在助けを必要としているそのパーソナリティーであり、もし法則が許すなら、そして勿論法則が許すか否かに関わりなく、ヒーラーは完全に治癒するために働くことでしょう。彼はどこで働きかけるのでしょうか？まったく同じように、あたかもその原因がその現在のパーソナリティーにあるかのように、なぜならその結果を受けているのはその現在のパーソナリティーだからです。

Q：それが私が知りたかったことです；もし原因が過去生にあったとしても、今その結果が出ているわけですから、その結果に対してあなたは働きかけるのですか？

K：ですから私は優れた精神分析家でも､相手を癒すために遠い過去に導いてはいけないと言うのです。なぜなら、結果は表面にあるからです。原因を表面にもたらすためにその相手を潜在意識の深い部分まで連れて行く必要はありません。もしその人が結果を蒙っているなら、それは原因が表面に来ているからであり、それは私たちが海と呼んでいる潜在意識の表面に浮いているという意味です。人間のサイコノエティカルな健康を扱う精神分析医、心理学者たちは、様々な精神的病気をどのように診断するかについてもっと多くを学ぶべきなのです。

　ですから、よい精神分析医は原因を見ることができるべきです。なぜならそれはその医師の前にあるからです。私は言葉どおりに述べています。ですから、催眠状態にして患者を過去に連れ戻す必要はないのです。

Q：結果がその原因へと導くのですか？

K：結果を得るためには、原因も表面にあるべきです。なぜならそのパーソナリティーが原因を表面に持ってきているので、結果が症状として出ているのです。例えば、原因が４回または５回前の転生から来ているとして、

**その原因が非常に強い場合、原因結果の法則は慈悲によってその結果を数回の転生に渡ってもたらすことでしょう。それはその原因が結果を伴って継続的に表面化するということです。**

　ですから、原因は常に表面に現れています。なぜならもし原因が深い所に留まっているなら、結果が現れる必要はないからです。サイコノエティカルな病気その他を治そうとする場合、あなたは結果ではなくて原因を押し戻すことを心がけます。下に押し戻すのは原因です、その結果、潜在意識の表面に来ないように。なぜなら、なんであれ表面に浮上しているものはその現在のパーソナリティーの現在の現れだからです。そしてもし原因が表面にあるなら、それは引き続き過去からの問題の原因となるからです。

　これが過去からの結果が症状として出ている人を治す方法です。いいですか、その人の問題の原因が一週間前、数ヶ月前、数年前に起きていても、そのようにしてその人に現れている結果を癒す方法です；つまり、その人が自分自身を現している仕方を変えるのです。

　以上の方法は気づきを高めるための方法ではなく、その人の気づきの上昇を邪魔している何か、障碍を取り除いて、その人を助けるための方法です。そのようにして助けることができます。しかし、その目的は気づきを高めることではなく、その人が過去からの問題の影響を受けることなく、**ノーマルに**毎日の生活を生きることができるように助けるための方法です。**ノーマルに**ということは、過去からの影響を受けないという意味です。なぜなら、通常過去からの結果は否定的なもので、痛みを伴うからです。あなたはそれを取り除き、その後にその人は気づきを高めるために努力することが出来るようになるでしょう。

Page4

　しかし時には、その人が過去からの影響を受けていても、気づきを高める努力をすることでその結果を取り除くことができるケースもあります。しかしそれはケースバイケースであり、それを一般化して言うことはできません。

Q：私は常に思っているのですが、原因結果の法則はいつも気づきが高まるように助けてくれるので、それ故に私は自分の問題とつながり、何故自分は今その結果を経験しているのか気づくようにすべきだと思っています。

K：何であれ表面にあるものは、その人が毎日の生活のなかでどのように自分自身を現わしているかの原因であり、そのようにして現わす仕方は気づきのレベルを意味しません。何かを理解するためには、それはプロセスの中であり、日常生活においてあなたがどのように振る舞うかであり、それは比較を通じてです。私たちは日常生活であるやり方で行動しています；自分がした行為が適切ではないとどのようにして認識するのでしょうか？それは人類の一般的気づきのレベル、つまり私たちが生きている社会の気づきのレベルの結果として、ある思考・行動の仕方によって私たちが受け入れられている仕方の中にあります。そしてレッスンの中で述べましたが、もし私たちが悪いことをすると私たちはそれを認識し、すると私たちは直ちに罪悪感を現すのです。そのようにして私たちは学ぶのです。

私たちが使用している規範、標準は勿論、今述べたような社会の規範であり、それは理想的な基準によるのではありません。しかし、私たちはゆっくりと徐々に前進していきます。その基準はあなたに知識として与えられたものでしょうか？あなた方には規範としての物差しと知識が与えられています、それを使って毎日の生活におけるあなたの振る舞いを比較するのです。そのようにして皆さんは進歩していきます。そのようにしてレッスンを学んでいくのです…自分の行動を（＊エレブナから与えられた）規範と比較することによって。これが実際エレブナから与えられているものです。あなた方には規範、基準が与えられていますが、しかし全ての人がそれを受け入れる準備ができているわけではありません。

Q：何らかの病気、恐怖症その他を抱えている人々には一般的な傾向があります；その原因を知りたいと願います。なぜなら、原因がわかれば病気に対処できるだろうと考えるからです。

K：そのようにはなっていません。**その人が問題にフォーカスするのを止め、何か別のことに注意を向けるように助けるべきです、潜在意識の深部から来る放射にフォーカスしないようさせます。もしあなたが、その人がなぜそのようなことをするのかにフォーカスすると、それは原因にフォーカスすることになり、それは火に油を注ぐことになり、状態は悪化するでしょう。**

　これが催眠療法または過去生退行の危険性です。なぜなら、現在のその人よりもずっと低いレベルの思考・行動の仕方のレベルのパーソナリティーを表面にもたらすことになるからです。今生きているその人は、過去生における自分のそのような二元性の意味を受け入れることはできないでしょう、たとえ過去生においては受け入れることができても。

（＊過去生で）自分が誰かを殺したり、自分が自殺したことを見るかもしれません。ある本では、誰かが過去生へと連れ戻されて、自分が自殺したことを見た後に、即座に窓から飛び降りて同じ行為を繰り返そうとした事例が書かれています。

　ですから、過去生退行、催眠療法は誰かを癒すための方法ではありません。表面に浮上させてもらい、自分でその原因を見て、比較し、レッスンを得る；それはまるで火に油を注ぐようなものです；その結果、現在のパーソナリティーはそれを取り入れるか、または精神的なアンバランスが生じるかのいずれかになるでしょう、なぜならその過去の行為は現在の自分にとっては受け入れることのできないものだからです。

　これまで精神分析のグループが治療として行っていたことは多くの点で間違っています。そして今では彼等の多くはそれを認めています。患者ではなくて精神分析医が、症状の原因を見ることができるべきであり、患者ではありません。

Q：現在のところ、マスメディアなどを通じて催眠療法と過去生退行を推薦する傾向があり、それに対して反対する傾向は今のところありません；おそらくエレブナが何かをすべきではないでしょうか。

K：何であれ良いと思えばエレブナはそれを行います。もしエレブナが立ち上がって声を上げるなら、多くの反対者が出るでしょう。なぜなら、その結果として彼等は収入を失うようになるからです。それは世界のエネルギー、薬品、そして平和問題に関する状況とまったく同じです。

Page5

 多くの政府は平和を求めていると言いますが、しかし実際には彼等はそれについて何もしたくはないのです。なぜなら、金銭の収入がからんでくるからです。

　例えば中東問題では、もし大国、特にアメリカがその地方で平和を望んでいるなら、簡単に達成できることでしょう。しかし彼等はその傷、問題をオープンにはしません。なぜなら、アメリカは中東全体における自分の存在を正当化したいからです。

　もちろん、いつかは世界が平和になり、一人一人が全体のために努力し、全体が個人のために働く時代が来ることでしょう。

Q：世界の様々なところである人々はとても良心的に働き、他の人々はできるだけ働かずに生きることができる逃げ道を作ろうとしています。

K：残念ながら今の所は、状況は人々がチームとして、あるいは全体として働くように外側から強制しており、内側から出てくる熱意で働くという状況ではありません。人々に何かをするように強要するときには、何も成功しません。無知の本質は、上から強要されたものは受け入れないという反応を示します。特に何かをするように強制された時には。

Q：永遠のアトムとサイコノエティカル体が最初は球体であるということは、最後にもそれらは球体になるのですか？

K：決してそうなりません。球体が意味するものは、現在のパーソナリティーとしてのその現れが惑星の４つのエレメントを使用して転生する、ということです。

転生するということは、４つのエレメントを通じて築かれる肉体を提供するということです。そしてその肉体は聖霊によって創造されます。

　これがリンゴが意味するものです。それは惑星の球形を意味します。リンゴの果実は４つのエレメントを意味します。そしてリンゴをカットすると内側には五芒星が見られます。五芒星は五感を意味します…それが真の感覚であろうと影の感覚であろうとも。また五芒星は人間のイデアフォームを意味し、それは勿論初めはそのパーソナリティーが五感を使用している時は表現されませんが、しかしそのフォームは肉体に与えられるようになるのです。

　肉体は、もし私たちが各個人の特定の特徴を無視するなら、全ての人が同じ形の人間のイデアフォームを持っています。そのまったく同じ形が与えられているので、人間は機能でき、歩くことができ、仕事その他をすることができるのです。しかしサイコノエティカル体としてのパーソナリティーはその形、フォームは使いません。しかし、パーソナリティーはこの世界の波動の中で機能するためにはこのフォームが必要であり、**それゆえに肉体には人間のイデアのフォームがあるのです。**

Q：しかし、肉体が必要なくなったら、それは球体にもどるのですか？

K：いいえ、戻りません。レッスンで話しましたが、

Lifeの現れがその本質を完全に表現するためには完全に活性化された骨組みが必要であり、それは生命の木です…元型である人間のイデアフォームと同一の体を得るために。もし私たちにその体がなければ、その現れはLifeの本質を完全に現すことができません。

それゆえに現在のパーソナリティーはLifeの本質を完全には現さないのです。なぜならその体は完全に活性化された骨組みではないからです。私たちが高次レベルの気づきを現そうとすると、そのためにはこの骨組みを活性化する努力が必要となり、諸体はこの骨組みの活性化に従うのです。

Q：しかし、諸体を必要としなくなる時が来ます。

K：**地球の全人類が自己実現に到達し、もはやサイコノエティカル体を必要としなくなるとき、私たちはもはや五感を使用しなくなり、高次ノエティカル体を使用して同調を行います。その時、惑星全体として私たちはどれほど遠い星であろうとも成長の過程にある他の同胞の人間達にアガピを提供し、サポートし導くでしょう**。

Q：その時、私たちはその星の人間の形を帯びるのですか？なぜなら、現在の形としての体を持つ理由がないからです。

K：**全ての星における人間の体の形は同じです。**

**唯一の違いとしては、その星の主要なエレメント（＊地水火風）の比率の違いによって、身体の比率がいくらか異なるかもしれませんが。**

**しかし身体は私たちとまったく同じで、２つの目と耳、２つの鼻の穴、その他全て同じです。他の惑星の人間として人々が描くものによって混乱しないでください。しかし私たちが将来創造するロボットは異なるかもしれませんが。将来、私たちは人々が他の惑星から来た人間だとみなすような完全なロボットを創造することでしょう。しかしそれは人間が創造するものであり；それらの創造物はある程度までは考えをも現すことができるようになるでしょう。**

現在地球を訪れているいわゆる宇宙人がもし人間によって捕らえられた場合、それらは彼等が像として捕獲されることを予め意図しているからです。自己実現した人間は捕獲されません。この点では現在の科学者達はLifeの現れについて混乱しています。

　自己実現した現在のパーソナリティーは高次ノエティカル体を使い、Lifeを意味する１つのセンターだけがあり、それはハートのセンターです。それはアガピを輝かせている太陽であり、Lifeそれ自体を輝かせている太陽です。

Q：それは何色ですか？

K：**金色です。**

Q：それではどうして私たちはハートのセンターでホワイトピンクを視覚化するのですか？

K：それは様々な陰影を帯びた金色の光です。その体の輝きを言葉であなた方に説明するのは非常に困難です。それは実際、その体を使用している人が他の人間達からどのように見られたいかにもよります。

Q：それらのパーソナリティー達はいつ同化を現すのですか？

K：その前のステートでは彼等は高次ノエティカル体を使用し、それは実存の諸世界にいる時のものです。しかし、実存の諸世界の境界を越えて存在の諸世界に入ると、自動的にノエティカル体ではなくノエティック体を使います。それは同じマインドの波動であるスーパーサブスタンスですが。しかしノエティック体にはもう一つの質があり、それは同調ではなく同化を使用するということです。しかし、一度存在の諸世界に入ると、もはや転生のサイクルとして戻って来ることはできません。

**それは惑星全体が自己実現した惑星となり、実存の諸世界でその目的を完全に果たした時に生じます；**

**それはまた創造界における他の惑星上の､他の銀河その他のために助けを与えるようになることを意味します。**

　***誰も自分だけがその惑星を去るということはしません。***人々が自己実現に達すると、常に自己実現した人間として同じ惑星上の他の人間達を助けます。そしてその惑星の全ての人間が自己実現するまで待ち、その後で別の役割があります。その役割とは時間という意味の中にいる他の人間達を抱きしめることです。しかしどれほど長い間そうするのかは誰も知りません。

Q：本で読んだのですが、ある特定の鉱物の粒には特定の形があるということです…円形、六角形、８角形その他。それらの鉱物はその構造としてのセルがあるのですか？

K：存在するものは何であれ、存在するためにその内側にはLifeがあります。そして勿論全てはLifeの中にあります。そうです、原子にはその構造があり；最小のものから最大のものまでその構造があります。全ての固体は同じ構造をしているということではありません。しかしそれらには人間のイデアフォームはありません。人間のイデアフォームを持つためには、それはLifeそれ自体でなければなりません。なぜなら、それはLifeの本質を完全に現すからです。もし物質の原子が完全に活性化された骨組みを持つなら、それはまた人間のイデアフォームの形を持つことでしょう。そしてその原子はLifeそれ自体であることになります。しかし、実際にはそれは内側にLifeを持つので、Lifeそれ自体ではありません。

　すべてにはその中にLifeがあると言う時、それはそれがLifeを現しているという意味ではありません。この点は明瞭にしてください。現在のパーソナリティーについても同じ事が言えます。現在のパーソナリティーはその中にLifeを有していても、Lifeそれ自体ではありません、それはLifeによって活性化されたのです。

 EREVNA PYR 84 KE08 No.9 2702